

総合計画部

昭和37年5月28日 第3種郵便物認可
昭和48年9月15日 印刷(毎月1回)
昭和48年9月20日 発行(20日発行)

PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

土木学会論文報告集

No. 217, 1973-9

2 ヒンジ円弧アーチの面内座屈特性に関する研究……	崎山毅	1
動的粘性係数を考慮した三次元地盤と 地上構造物の連成震動解析……………	林北原義夫 藤原義浩 藤駒広一	11
被圧地下水層への水の補給についての一考察……………	本間仁 萩原国宏	25
ブロックの形成条件がその性質におよぼす影響……………	楠田哲也	33
波の上の風速変動に関する実験的研究……………	加藤始	41
軟弱地盤・構造物系の動特性におよぼす基礎・ 地盤の影響……………	堤神谷美郎 工藤口豊史 田田典郎	51
セメントモルタルのクリープ変形と破壊に関する 実験的研究……………	桜井春輔	65
コンクリートの衝撃疲労強度に関する研究……………	尼崎省二 明石外樹 竹内正喜 桂木正雄	77
鉄筋とコンクリートとの付着に関する基礎的研究……………	田島政範 島田静雄	87

コンクリートにも 生命を……

コンクリートの品質は、そのコンクリートの生命です。悪い品質のコンクリートでは、いかに施工技術が発達しても優れたコンクリート工事は出来ません。



研究設備の概要

骨材試験室、砂・砂利調製室、砂乾燥室、コンクリート試験室、恒温コンクリート試験室、高温・低温養生室、標準養生室(霧室)、強度試験室、乾燥収縮試験室、セメント試験室、モルタル試験室、機器分析室、化学実験室、高温・低温試験室、鉄製品研究室、衝撃試験室、セミナー室、他

弊社では、混和剤専門メーカーの立場から、自から中央研究所を設立し、この生命を求めつづけております。

当研究所は、より良いコンクリートを創り出すために建てられたと云っても過言ではない星、コンクリートのコンクリートの為に設備されている研究所です。このため本邦有数のコンクリート試験キャパシティを有しております。これらにより信頼度の高い試験データを多量に生み出すことができ、コンクリートの研究開発のほか、全国の需要家に対するテクニカルサービス試験ならびに技術指導等を行っております。

また研究設備を広く斯界に公開し、わが国はもちろん東南アジア諸地域のコンクリート関連技術の向上ならびに発展にいささか貢献いたしております。

ボソリス物産株式会社
日曹マスタービルダース株式会社
東京都港区六本木3-16-25 ☎ 032-8811



日曹マスタービルダース中央研究所

PROCEEDINGS OF THE JAPAN SOCIETY OF CIVIL ENGINEERS

No. 217, September 1973

C O N T E N T S

- On the Buckling Characteristics of 2-Hinged Circular Arches
By Takeshi Sakiyama 1
- Three Dimensional Earthquake Interaction Analysis between Structure and Visco-
Elastic Ground
By Masao Hayashi, Yoshihiro Kitahara, Yoshikazu Fujiwara and Hiroya Komada 11
- An Analysis of Radial Leaky Flow to Confined Porous Media
By Masashi Hom-ma and Kunihiro Oqihara 25
- Effects on Floc Properties by Condition of Floc Formation
By Tetsuya Kusuda 33
- Experimental Study on the Wind Velocity Fluctuations Over Water Waves
By Hajime Kato 41
- Dynamic Characteristics of Ground-Structure Systems Due to Foundation Conditions
By Hajime Tsutsumi, Yoshio Kamiya, Toyonori Kudoh and Shiroh Taguchi 51
- Experimental Studies on Creep Deformation and Failure of Cement Mortar under
Sustained Loading
By Shinsuke Sakurai 65
- A Study on Impact Fatigue Strength of Concrete
By Syōji Amasaki, Toyoki Akashi, Masaki Takeuchi and Masao Katsuragi 77
- A Fundamental Study on the Bond of Steel Bars with Concrete
By Cheong-Beom Cheon and Shizuo Shimada 87

The Japan Society of Civil Engineers

Yotsuya 1-chome Shinjuku-ku, Tokyo

JAPAN

土木学会論文報告集投稿要項要約

1. 投 稿 者：本会会員，ただし連名の場合は1人以上が会員であること。
2. 原稿提出期日：随時
3. 原稿の書き方について：土木学会投稿の手引き第3章参照。
 - 提出部数：正原稿（図・表・写真とも）および複写3通。
 - 図表について：正図はそのまま製版できるよう白か透明の紙に縮尺を考慮して必ずスミ入れする（線図・文字・符号などすべてスミ入れすること）。
 - 表は原則として活字で組むが，表の中に図が入る場合，複雑な表はすべてスミ入れするものとする。
4. 論文報告の長さ：論文報告1編の長さは原則として刷上り図表を含み10ページ以内とする。ただし，6ページまでの超過は認めるが，その費用はすべて著者の実費負担とする。
5. 和文要旨について：和文要旨は図・表・写真を含み刷り上り0.5ページ（800字～900字）として3部提出する。なお，投稿の手引き（6ページ）に記述してある「7. 欧文要旨」は現在必要ありませんのでお含みおき下さい。
6. 討議について：討議は土木学会論文報告集に掲載されたものを対象とし，論文報告集掲載後6カ月以内を原則とする。
7. 査読について：査読は次の5部門で行なうので投稿原稿はどの部門に属するかを明記する。
 - 第1部門：応用力学・構造力学・構造工学・橋梁一般・鋼橋等
 - 第2部門：水理学・水文学・河川工学・港湾工学・海岸工学・発電水力・衛生工学等
 - 第3部門：土質力学・基礎工学・岩盤力学等
 - 第4部門：道路工学・鉄道工学・交通計画・都市計画・国土計画・測量等
 - 第5部門：土木材料・土木施工法・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学等

土木学会論文集編集委員

◎ 印 主 査 ○ 印 幹 事

委員 長	久野悟郎	副委員長	◎稲田倍穂	委員	舛川登	委員	堀川浩甫
委 員	秋山成興	委 員	◎奥村樹郎	員	田中康男	員	北条武志
"	赤松惟央	"	片倉正彦	"	田中則之	"	町田篤彦
"	足立義雄	"	○片山恒雄	"	○田辺忠顕	"	◎松本嘉司
"	綾日出教	"	○木村孟	"	○武田昭彦	"	松元和彦
"	石沢成夫	"	喜田大三	"	○玉井信行	"	松浦光春
"	板倉川新	"	菊田征勇	"	◎土尾昭彦	"	三浦俊治
"	市川幸雄	"	北原清真	"	中村良夫	"	水越則昭
"	宇野尚雄	"	小坪修蔵	"	中村文雄	"	宮田尚彦
"	江刺靖行	"	小森武正	"	西野文隆	"	村上順雄
"	枝川紀生	"	佐鳥悦久	"	西岡隆宏	"	矢下 弘
"	小川正博	"	齋藤和郎	"	橋本良輔	"	山田清臣
"	大大内雅明	"	齋藤健次	"	広田野敏	"	結城皓
"	◎岡内功夫	"	坂井藤一	"	藤田洋勝		
"	岡村夫英	"	沢田健吉	"	星谷 彪		
"	奥山育英	"	椎名 彪	"	堀 江		

土木学会論文報告集 No. 217

定価 450 円 (〒 40 円)

昭和 48 年 9 月 15 日 印刷

昭和 48 年 9 月 20 日 発行

発行者 東京都新宿区四谷1丁目

社団法人 土木学会 専務理事 下村 肇

発行所 社団法人 土木学会 郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目 振替東京16828番

電話 (03) 351-5138

印刷所 東京都港区赤坂 1-3-6 技報堂